

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	横浜市東部地域療育センター 児童発達支援事業所「パレット」		
○保護者評価実施期間	令和7年11月11日	～	令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60 (回答者数)	38
○従業者評価実施期間	令和7年11月27日	～	令和7年12月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月30日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さん1人1人の発達や障害特性に応じた、専門的な視点による支援を行っています。	集団の中で必要とされるソーシャルトレーニングを活動プログラムに取り込み、集団場面でお子さんが安心、安定して過ごせるよう支援しています。	引続き、個々のお子さんに合わせた支援、対応を行っています。職員研修等を通し、新たな視点、支援を模索していきます。
2	保護者の方が、お子さんの特性を理解し、今後、周りの方たちに伝えていけるよう、勉強会を行っています。また、就学に向けての勉強会や相談の場を設けています。	療育センターの職員（心理士、作業療法士、言語聴覚士、ソーシャルワーカー等）と連携し、勉強会等を実施しています。事業所の職員からも、就学前のお子さんの特性の理解と周りの方への伝え方等の勉強会を実施、個々の相談にも対応しています。	勉強会や、提出物など、負担になってしまっているというご意見もあり、より参加しやすい保護者プログラムを検討します。また、より相談しやすいシステムの構築を検討します。
3	地域支援として、お子さんの通う幼稚園、保育所への巡回訪問を実施しています。また、幼稚園保育所の先生向けの研修会を開催しています。	巡回訪問で、園の先生方とお子さんの様子を共有し、保護者への報告を行っています。また、事業所での療育の紹介を園の先生向けに行い、園で取り組める支援についてや、配慮の必要なお子さんへの関りについて等、お話をする場を設けています。	引続き、巡回訪問や研修を通し、園の先生方と連携を図っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	勉強会や参観等、保護者プログラムを多数実施していますが、提出物も多く、保護者負担が大きくなってしまっています。	保護者支援が大きな柱となる中で、勉強会や懇談会を多く実施しています。勉強会の多くを動画配信にし、見ていただきやすい形式にしましたが、その都度感想を提出していただいております。保護者の負担につながっていることが考えられます。その他の勉強会でも、宿題として提出していただく書類があります。	勉強会の感想や、その他の提出物は、形を検討したり、お子さんが療育をしている間に終わらせるようにするなど、ご家庭で取り組むものを極力減らせるよう、考えていきます。
2	保護者の相談がよりしやすい環境、システムを作ります。	申し出があった方には、相談に応じていますが、時間が短かったり、立ち話になってしまっています。また、パレットが終了した後の不安を口にする保護者の方が多いです。	より相談していただきやすく、計画的に相談ができるシステム作りを行います。また、同窓会の開催等を検討します。
3	環境面での課題が多くみられます。	スペースが狭く、パーティションを駆使して個室を作ったり、お子さんの状況に合わせて居場所をその都度作ったりしています。また、空調の関係で壁の上部が開いていたり、可動式の壁があるため、隣の部屋の声や音が聞こえてしまいます。	引続き、活動内容や勉強会内容をすり合わせ、スペースの有効利用や、より落ち着いた環境で活動ができるよう、配慮していきます。